

70 エリマキシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Philomachus pugnax

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本では旅鳥だが、本州と九州では一部越冬する。兵庫県では主に3-5月と8-11月に見られるが、冬期にも記録がある。水田や休耕田、ため池など、内陸の湿地に生息するが、干潟や河口、海岸の埋立地などでも見られる。エビ類、ミズ類、貝類、昆虫類などを採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、(西宮市)、豊岡市、(加古川市)、(赤穂市)、南あわじ市、(淡路市)、(加東市)、稲美町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県南部では単独か数羽の群れが記録されていたが、生息環境の消失に伴い現在は播磨東部で記録される程度である。県北部でも記録はあるが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。



写真提供:松重和太